

# 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月30日

上場会社名 株式会社K S K 上場取引所 東  
 コード番号 9687 URL https://www.ksk.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 川辺 恭輔 TEL 042-378-1100  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	19,060	10.3	2,167	31.7	2,267	32.9	1,713	38.9
2025年3月期第3四半期	17,276	7.7	1,645	0.1	1,706	0.5	1,233	1.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,930百万円 (56.3%) 2025年3月期第3四半期 1,234百万円 (△5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	282.75	276.49
2025年3月期第3四半期	205.37	200.30

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	24,053	17,958	73.7
2025年3月期	22,944	16,719	72.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 17,732百万円 2025年3月期 16,525百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	124.00	124.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				163.00	163.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,400	7.6	2,620	8.3	2,700	7.7	1,970	5.9	325.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	7,636,368株	2025年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,572,948株	2025年3月期	1,585,418株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	6,058,677株	2025年3月期3Q	6,006,727株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境や賃金引上げ等の所得環境が改善する状況下にインバウンド需要が引き続き旺盛であることも相まって緩やかな回復基調にあります。一方、円安に伴う資材高騰や供給不足等による物価上昇により、実質賃金低下の状況が続いており、国内消費は足踏み状態となっております。また、世界的には、混迷が続くウクライナ・中東情勢の長期化や、米国の通商政策や外交姿勢の影響に加え、欧州諸国等、主要国における少数与党による不安定な政権運営が経済の不確実性を一段と高めています。さらに、台湾情勢をめぐる日中関係の緊張等、東アジアの地政学リスクも高まっており、景気の先行きは依然として不透明かつ流動的な状況が続くものと思われます。

当社グループが属する情報サービス産業界におきましては、企業の競争力強化や業務効率化を目的としたDX（デジタル・トランスフォーメーション）への取り組みが引き続き進展しており、クラウドコンピューティング、IoTに加え、生成AIの活用を見据えた投資需要が拡大いたしました。特に、ハードウェアとソフトウェアの融合によるシステム全体の最適化や、業務プロセスの高度化・自動化を志向する動きが一層強まっております。一方で、サイバー攻撃の高度化・巧妙化を背景としたサイバーセキュリティ対策の強化、個人情報保護や各種法規制への対応に加え、IT人材の需給逼迫による人件費の上昇など、事業環境は複雑性を増しており、情報サービス企業には、技術力の高度化が求められております。

このような変化が激しく、不確実性が高まる市場におきまして、技術の知識と経験を兼ね備えた人材を確保すべく、報酬水準の見直し、就労環境の改善等、人的資本投資の拡充を進めております。また、2026年度を最終年度とする3か年の中期経営計画「Blue Wind Chapter II」におきましても、「事業の強靱化」「SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）への取組み」「人と組織の強靱化」を重点課題とし、市場に柔軟かつ的確に対応できる人材の育成に向けた成長投資を積極的に行っております。さらに、持続的な事業発展には欠かせない新卒社員等の採用活動につきましても引き続き積極的に推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,060百万円で前年同期比1,783百万円（前年同期比10.3%増）の増収となりました。利益面では、契約単価の見直しによる収益改善や、成長分野へのシフト等が進んでおります。一方、売上原価等の費用面におきまして、人的資本投資拡充の一環として、給与水準の引き上げを3期連続で実施したこと等の処遇改善に対し、前第3四半期連結累計期間には50周年記念一時金が243百万円発生していたことの反動から、営業利益は2,167百万円で前年同期比521百万円増（同31.7%増）となりました。経常利益は2,267百万円で前年同期比561百万円増（同32.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,713百万円で前年同期比479百万円増（同38.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (イ) システムコア事業

今後成長が期待されるイメージセンサーなどの半導体分野、通信機器部品の機構設計、並びに組込ソフトウェア開発の受注が伸長しております。医療装置の設計開発業務に関しても引き続き堅調に推移していること等から、売上高は3,423百万円（前年同期比11.1%増）、セグメント利益は800百万円（同0.2%増）となりました。

#### (ロ) ITソリューション事業

自社開発したパッケージソフトウェアの受注やモバイル関連ビジネスがセグメント収益を牽引しています。その他のシステム開発、モバイルアプリ開発案件も契約条件の改善が進み、堅調に推移していること等から、売上高は4,450百万円（前年同期比11.0%増）、セグメント利益は1,205百万円（同17.2%増）となりました。

#### (ハ) ネットワークサービス事業

ネットワーク新規構築や運用・保守業務、情報セキュリティ関連など、企業や官公庁等の旺盛な需要に対し、受注機会を的確に捉え対応できるよう積極的に人材投資を行っております。その結果、売上高は11,186百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は2,439百万円（同8.6%増）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,634百万円となり、前連結会計年度末に比べ114百万円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が417百万円、流動資産のその他に含まれる前払費用が119百万円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が444百万円、有価証券が201百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は9,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ994百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産の投資有価証券が1,150百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は24,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,108百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,061百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他に含まれる預り金が347百万円、未払費用が258百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が350百万円、賞与引当金が331百万円、買掛金が47百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は2,032百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が11百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は6,094百万円となり、前連結会計年度末に比べ130百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、17,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,239百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が配当の支払いにより750百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益により1,713百万円、その他有価証券評価差額金が190百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年4月30日付「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,323	5,768
受取手形、売掛金及び契約資産	5,403	4,985
有価証券	3,502	3,703
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	290	177
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	14,520	14,634
固定資産		
有形固定資産	764	719
無形固定資産	88	84
投資その他の資産		
投資有価証券	6,002	7,153
その他	1,567	1,460
投資その他の資産合計	7,570	8,614
固定資産合計	8,424	9,418
資産合計	22,944	24,053
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	263	215
未払法人税等	527	177
賞与引当金	1,985	1,653
その他	1,403	2,015
流動負債合計	4,180	4,061
固定負債		
退職給付に係る負債	1,746	1,735
資産除去債務	113	115
その他	184	182
固定負債合計	2,044	2,032
負債合計	6,224	6,094
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,763	1,781
利益剰余金	14,205	15,168
自己株式	△1,112	△1,103
株主資本合計	16,305	17,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	601
退職給付に係る調整累計額	△190	△164
その他の包括利益累計額合計	219	437
新株予約権	193	226
純資産合計	16,719	17,958
負債純資産合計	22,944	24,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	17,276	19,060
売上原価	13,203	14,615
売上総利益	4,073	4,445
販売費及び一般管理費	2,427	2,278
営業利益	1,645	2,167
営業外収益		
受取利息	40	69
受取配当金	15	27
その他	4	3
営業外収益合計	60	100
経常利益	1,706	2,267
特別利益		
新株予約権戻入益	—	0
受取保険金	—	0
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	2	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	1,703	2,268
法人税等	470	555
四半期純利益	1,233	1,713
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,233	1,713

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,233	1,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	190
退職給付に係る調整額	△12	26
その他の包括利益合計	1	217
四半期包括利益	1,234	1,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,234	1,930



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年12月31日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システムコア事業	I Tソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,080	4,009	10,186	17,276
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	6	9
計	3,080	4,012	10,193	17,286
セグメント利益	798	1,028	2,245	4,073

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,073
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△2,427
四半期連結損益計算書の営業利益	1,645

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	システムコア事業	I T ソリュー ション事業	ネットワーク サービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,423	4,450	11,186	19,060
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	6	9
計	3,423	4,454	11,193	19,070
セグメント利益	800	1,205	2,439	4,445

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	4,445
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△2,278
四半期連結損益計算書の営業利益	2,167

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (2024年4月1日から 2024年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (2025年4月1日から 2025年12月31日まで)
減価償却費	93百万円	86百万円